



YES 通信



〒819-1116 糸島市前原中央2-2-22波多江ビル2F 電話 321-4119 2016年2月号

残り物には福があるの本当の意味は？

「残り物には福がある」ということわざがありま
すが本当に福があるのでしょうか？

残り物に福があるとは？お菓子などをみんなで分
けなければならない時に、じゃんけんで勝った者か
ら順番にとっていく、じゃんけんに負けて最後に残
り物のおかしを取った時にそのお菓子が先に取った
人たちのお菓子よりも美味しかった時などに「残り
物に福ありだね〜」なんて言っているのをイメー
ジするのではないのでしょうか？

私も同じで、残り物に福があるのは偶然でしか
ないと思っていました。残り物が良かった場合に限り
福があると言ったり、残り物を引いた自分を慰める
ために使う言葉だと思っていたのです。

やはり残り物よりは先に取ったほうが嬉しいです
し、新しいものが良いとされている人がほとんどだ
と思います。一般的には残り物はいいイメージより
も悪いイメージのほうが強いのです。

でも、本当にそうなのでしょうか？

以前、ある方からこんなことを教えていただきま
した。残り物には福があると言っているには深いわけが
あるのだと・・・新しいものは流行の先端
という魅力がある反面、本当に良い物かどうかは時
間をかけてみないとわからない物が多いのも事実
で、実際には害があったりすることも珍しいことで

はなく、新しい物には怪しいものが混じっているこ
とを意味しているのだとのことでした。ですから長

く残っているものにこそ福があるのだというのが本
当の意味だとのことでした。

だからこそ、長年売れ続けている商品やお店のサ
ービスには信用があるのだということなのです。

最近、読書をしていても感じるのですが、
新しい本ばかりを読んでいてふと古い本を読むと結
構繋がっているなあ、基本は同じなんだなあと感じ
ることが多々あります。「新しく出版された本の9
0%が五年後にはなくなっている。そして10年後
には、なんと1%程しか残っていないのだ。」とある
本に書いてありました。

古い本にはあまり興味を持っていなかった私です
が、この話を聞いてからは、古い本で、しかも今も
生き残っている本が良いなあと思えるようになって
きました。また、少し待つ余裕というものが出来る
ようになってきたようです。古典とかをもっと読め
るようになりたいと、最近では思っています。

当然ですが、やはり良い物は生き残るということ
です。まさに「残り物には福がある」ではないでし
ょうか？

本くらいなら面白かった、面白くなかった。ため
になった、ためにならなかった。くらいですみます

が、医薬品や食品等健康に害を及ぼす可能性のある
場合は注意しないといけません。お茶の石鹸を使っ
て被害にあった方もいらっしゃいましたが、やはり
一番安全なのは昔から使い続けられている商品で
す。

何でもかんでも流行ものに飛びつくのは危険で
す。新しい物には何かマイナスの要因がないか？し
っかりと考えてからで、十分だと思えます。そして、
最終的に賢い選択が出来るようになりたいもので
す。情報に振り回されることなく、しっかりと自分
の判断基準で良いものを選ぶ目を持つことが重要だ
と思います。

話は変わりますが、ことわざの意味は深いです
ね〜私もこんな事を言えたがらではないのですが、
最近の子供達はことわざをあまり知りません。こと
わざに触れる習慣が少ないのだと思います。これは、
子どもたちの問題と言うよりも、最近の社会や私達
大人の問題だと思うのです。

ことわざとは先人の苦労や経験上に出来上がった
言葉だと思えます。それをことわざにして後輩や子
供達に伝えていったのでしょうか。しかもことわざは
とても印象深くまた、使うタイミングによってほと
ともインパクトがあり、効果的な気付きを与えるこ
とが出来る言葉です。

我々大人が、ことわざの意味を深く知って、もっ
とずっと語り継いでいきたいものです。

やる気相談室

変換

弱みを強みにポジティブ変換しよう

隣の芝生は青く見える

といいますが、まさに私達はないものねだりの天才なので、人のことを見ては羨ましく思ったり、自分の欠点ばかりが目についたりします。そんな私達にピッタリのスキルがポジティブ変換というスキルです。

ポジティブ変換とはどのようなスキルか
と言つと、自分は「のろま」だとか「暗い」と思い込んでいる人に対して、「慎重」だとか「控え目」というふうに前向きな言葉で返してあげるスキルです。

以前のYES通信でも紹介した元ラグビー日本代表のエディーヘッドコーチのエピソードを紹介したいと思います。エディーコーチは外国のチームに勝てる自信が全くなかった全日本のメンバー一人に、自分の自信の持てない要因を聞いたそうです。

みな同じ回答で1. 体が小さいから 2. プロではないから 3. 農耕民族の精神を持つていないからだだそうです。それに対してエディーコーチは丁寧に答えていったそうです。1の要因については「確かに体のサイズは変わらない。しかし、体が小さくとも強くなれる。そして速くなれる。何よりも賢くなれる。この3つを持ったラグビー選手になればいい。」と言ひ、2のプロではないについては、「うちのメンバーにはトヨタで働いている選手もいる。トヨタは世界でトップレベルの会社だ。世界トップレベルの会社で働いている選手がいることはとてもアドバンテージになるのだ。」と言ったそうです。そして最後の農耕民族に関しては「ムラ社会で生きていくにはリーダーの言ったことに従わなければならない。人と異なることをしてはいけないという精神が植えつけられるだろう。しかし、逆に言えば日本人はチームワークに優れた民族なんだ。ラグビーは複雑なスポーツだ。チームワークの良さがアドバンテージになる」と一つ一つをポジティブに変

換してき、そこから日本の代表チームの猛練習が始まったのだそうです。

このようなコーチがいると本当に心強いと思いませんか？

私達にはいろいろな強みや弱みがあります。この強みと弱みは紙一重、表裏一体と言っても良いようなものです。「積極的」が行き過ぎると「出しゃばり」となり「明るく」行き過ぎると「能天気」になったりするのです。なので、私達のように人と関わる仕事をする人や会社の管理職やマネージャー、そして子供と関わる保護者はこのスキルを持っているかいないかで、関わる人の強みを引き出せるかどうか違ってくるのです。

そのために、日頃からいろいろなものの見方が出来るように訓練することが大事です。書いていて思い出したのですが、私が新入社員の時の部長がいつもお酒を飲むと「コップは横から見ると長方形やけど上から見たらマルに見える。一面的に物事を見たらいかん」と仰っていました。改めてこの言葉の奥深さを感じる今日この頃です。

ゆったりクロールで長く、楽に泳ぐ！

最近、膝の調子が思わしくないので、ジョギングの練習があまり出来ていません。さすがに歳を重ねていくと昔のように体が動かなくなるものです。そのような中、ジョギングに変わる膝にも優しい運動がないかと思って水泳を始めました。ただ水泳ではクロールはすぐに疲れてしまい長い距離を泳ぐことは出来ないという不得意分野でした。なので、今回はこの本を読んで練習してみることにしました。感想は一言「わかりやすい！！」でした。読んだだけで軽やかにクロールが泳げるような気持ちになり、読後、早くプールに行きたくてウズウズしていました。それから5回ほど練習に行ったのですが、30分間クロールだけで練習が出来ようになりました。この状態なら30分間泳ぎ続けることも夢ではなさそうです(^^) / ただ、ここでこの本を紹介したのはみなさんにこの本や水泳を勧めるのが目的ではなく、勉強がスポーツにも通じることをお伝えしたかったのです。私達は勉強とスポーツや趣味、仕事を分けて考えがちです。子供たちは特にその傾向が強いのです。私は個人的には自分の強みを磨くのが勉強だと思っています。水泳でさえちょっと学ぶとこのような効果があるわけです。仕事でもスポーツでもただがむしやりにやるのではなく、勉強して理論や知識を身に着けることで、より良い結果を得られるのではないのでしょうか。

